

## びわ湖トラスト親子環境学習講座

～megumiに乗船B～ 報告書



認定NPO法人 びわ湖トラスト

実施日 : 2021年8月20日(金)  
 後援 : 大津市教育委員会  
 協賛 : 公益財団法人 平和堂財団  
 参加者 : 8組 16名(大人:8名・子供:8名)  
 スタッフ : 11名(講師・ボランティアスタッフ含む)

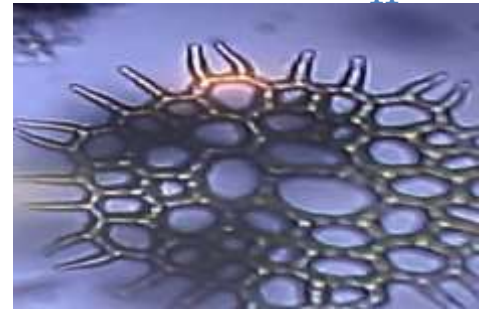
## 行程

9:20	受付開始	
9:30	乗船開始	
9:40	大津港 出航(白髭神社・沖の白石経由)	オリエンテーション プランクトン講義
11:30	沖の白石 停泊	プランクトン採取見学・体験 ランチ
11:40	琵琶湖大橋港(米プラザ) 寄港	
14:00	琵琶湖大橋港(米プラザ) 出航	顕微鏡でプランクトン観察
16:00	大津港着 解散、帰路へ	



前回同様、新型コロナウイルス感染症対策につき、定員をいつもの半分に開催。参加証と健康チェックシートの提出、検温。全員問題なく乗船することができた。

参加者はマスク着用の上、手の消毒を済ませて着席。テーブルにはアクリル板、除菌グッズを設置。親子環境学習上の注意事項、トラストの活動紹介、船の構造などの紹介の後、講師の一瀬諭先生によるプランクトン講義が始まった。



今回も参加者の小学生にも分かり易く、プランクトンとは何か。から始まり、水の大切さ、琵琶湖の大切さ、プランクトンの大切さ、プランクトンの種類の変化など生態系についても教えてくださった。

先生が出港前に採取された南湖、浜大津のプランクトンを顕微鏡でモニター観察。モニターに映しだされるプランクトンを見る参加者の眼差しは輝いていた。

講義の途中、琵琶湖大橋、白髭神社を船から見学。いつもとは違う角度から見る琵琶湖大橋や白髭神社を写真撮影などした。



コロナで沖島に上陸することができないので、北湖のプランクトン採取は、沖の白石付近で船上より行った。

バケツで40リットルの水をプランクトンネット(NXXX25)で40ミリリットルに1000倍濃縮し、船内にて顕微鏡でモニター観察。南湖とは違ったプランクトンを見ることができた。







午前の講義を終え、船内で各々に昼食を済ませた。昼食の後、琵琶湖大橋米プラザにて港内探索。

船に戻り、停泊したまま船内でプランクトン観察を再開し、しばらくしてから大津港に向かう。今度は、南湖・浜大津で採取したプランクトンと北湖・沖の白石で採取したプランクトンを顕微鏡を使って自らの目で探す。今回は、参加人数が少なかったため、いつもひと家族に一台の顕微鏡が二台となり、保護者・子供それぞれ1台ずつ使って観察することができた。プランクトンの名前が分からないときは先生に聞く。今回はボランティアでジュニアドクター育成塾の中学生さんとジュニアドクター育成塾の講師の先生も参加者の疑問に答えてくださり、たくさんのプランクトンを見つけることができた。

見つけたプランクトンを南湖・北湖、動物・植物に分けてホワイトボードに貼っていく。

ボードに貼れるのは最初に見つけた人なのでみんなが真剣に顕微鏡を覗いていた。

雨が降った後で前回よりプランクトンの種類は少なかったがいつもは南湖で見られるプランクトンが北湖で見られるなど、いろいろなことが発見できた。

コロナで沖島に上陸することができなかったがその分、顕微鏡観察の時間が長くとれた。

数日、不安定な天気が続き心配だったが午前はよい天気で船上からのプランクトン採取も行えた。





平和堂財団 西塚さんのお話をお聞きた後、参加人数が少なかったので参加者、ボランティア、スタッフ全員が感想を述べた。

参加者の感想からはたくさんのプランクトンに出会えた嬉しさが伝わってきた。  
夏休みもあと少し、今回の観察会で先生から出された宿題のプランクトンのスケッチ、自由研究のヒント、アドバイスを生かして残りの夏休みも楽しく過ごしてほしい。